

## 宮城県地域防災計画〔原子力災害対策編〕（別冊資料）について

## 1 はじめに

宮城県防災会議（平成25年2月1日）において、宮城県地域防災計画〔原子力災害対策編〕が修正されたことを受け、別冊資料についても関係機関の協力により、資料10のとおり取りまとめたところ。

## 2 別冊資料修正の概要

昨年度新たに「原子力災害対策重点区域」を導入したことから、別冊資料についても、従来のEPZ（防災対策重点地域）の範囲から、UPZ（緊急時防護措置を準備する区域）の範囲に係る記載に拡大することとし、必要に応じて資料を新たに作成し直した。

その他、従来の別冊資料から追加・変更等を行った主な事項は以下のとおりである。

資料番号	資料名※	変更事項等
1-2-2	事業者防災業務計画	H25.3.18 修正版に更新
1-7-1	関係機関による応援協力	H25.9.2 原子力防災会議幹事会（国）による原子力災害対策マニュアルの内容を反映
2-3-1～2-3-5	人口に関する資料	UPZに係る新規作成及び一部更新
2-3-6～2-3-16	輸送に関する資料	UPZに係る新規作成及び一部更新
2-3-17～2-3-22	施設に関する資料	UPZに係る新規作成及び一部更新
2-3-23～2-3-24	物資等に関する資料	更新
2-3-25～2-3-31	気象・モタリツグ等に関する資料	県データを更新
2-3-32～2-3-40	食料等に関する資料	UPZに係る新規作成及び一部更新
2-3-41～2-3-45	通信設備等に関する資料	UPZに係る新規作成及び更新
2-4-2, 2-10-1	資機材等に関する資料	最新の保有数等に更新
2-5-1～2-6-4	設備・機器等に関する資料	更新
2-15-1	線量換算係数等に関する資料	新規追加
3-2-5	通信連絡先に関する資料	更新
3-2-6	EAL/OILに関する資料	新規追加
3-4-1～3-4-3	防災体制に関する資料	関係課所と協議の上で修正

※略称等を用いて簡略化した名称としている

## 3 今後の対応

防災会議（平成25年2月5日予定）においても、別冊資料について報告する。

また、防災会議で地域防災計画〔原子力災害対策編〕（本編）の修正が決定された場合、修正後の計画を踏まえて再度全般の見直しを行うとともに、データ更新等の必要な対応を引き続き行う予定である。